

知ろう！わがまち 守ろう！わがまち

「被害想定を踏まえた初期消火能力向上方策について」

令和4年5月に東京都の新たな被害想定（以下「被害想定」という。）が公表され、今回の見直しでは出火防止対策を推進することにより、死者数・焼失棟数の被害を大幅に軽減することができるという、防災・減災対策による被害軽減効果が示されました。

これらを踏まえて、消防署では杉並区役所と連携し、被害想定との理解と自分たちのまちの資器材等の把握を目的とした防災講話とまちかど防災訓練を実施し、初期消火能力向上を図りたいと考えています。

防災講話



まちかど防災訓練

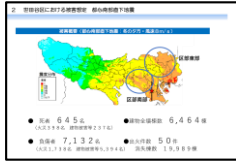


防災講話で、「被害想定を理解」、「初期消火の重要性」、「自分たちのまちの把握」をしてから実践的な初期消火訓練である「まちかど防災訓練」を実施しましょう！

理解と把握



動画の視聴



各区市の被害想定



延焼シミュレーションの活用



初期消火の重要性



まちの資器材等の確認

まちかど防災訓練の実施



消火器を集結しての初期消火



可搬ポンプやスタンドパイプを活用した放水



バケツリレー

実践的な初期消火訓練

皆様の町会・自治会等で実施する防災訓練にて【防災講話】や【まちかど防災訓練】を推進していますので管轄消防署へお問い合わせください。

問合せ先：杉並消防署 防災安全係 03-3393-0119
 荻窪消防署 防災安全係 03-3395-0119

講話内容

1 首都直下地震等による東京の被害想定報告書より 被害想定

被害概要（都心南部直下地震／多摩東部直下地震：冬の夕方・風速8m/s）

- ・建物倒壊と火災被害が大きい「都心南部直下地震（冬の夕方・風速8m/s）」において被害が最大となる。
- ・「多摩東部直下地震」では、震度6強以上の地域が最大となるため、被害量が比較的大きくなる。

	都心南部直下地震	多摩東部直下地震
死者合計	6,148人	4,986人
建物・倉庫倒壊・ブロック塀・樹木	3,427人	2,852人
屋内収容物	239人	216人
火災	2,482人	1,918人
負傷者合計 (うち重傷者)	93,435人 (13,829人)	81,609人 (11,441人)

死者合計
都心南部直下地震 **6,418人** 多摩東部直下地震 **4,986人**

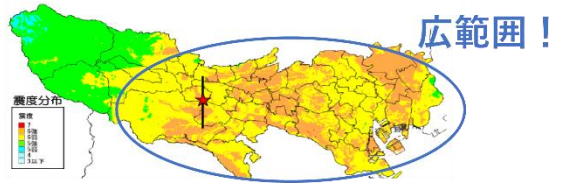
	都心南部直下地震	多摩東部直下地震
火災	9,947件 (2,778件)	7,269件 (2,031件)
建物被害合計	194,431棟	161,516棟
全壊棟数(倒壊・壊壊化・倉庫倒壊被害)	82,199棟	70,108棟

出火件数
都心南部直下地震 **6,23件** 多摩東部直下地震 **599件**

*市区町村別の被害想定詳細は、業務資料又は東京都HPを参照して下さい。

2 八王子市における被害想定 多摩東部直下地震

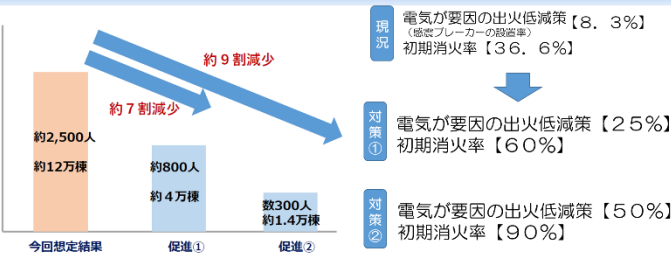
被害概要（多摩東部直下地震：冬の夕方・風速8m/s）



- 死者 172人
- 建物全壊棟数 2,452棟
- 負傷者 2,785人
- 出火件数 27件
消失棟数 3,094棟

被害想定について

3 初期消火率の向上について

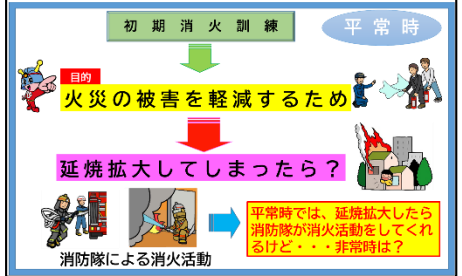


「注目すべきポイント」

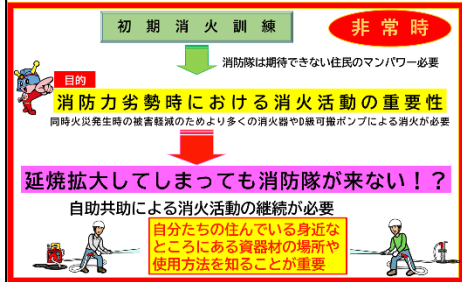
一人でも多くの住民が平常時での火災で初期消火を実施できるようにしなければなるほど地震時においても、火災による被害を大きく減らすことができる

初期消火率の向上に繋がる！

3 初期消火率の向上について～初期消火訓練の必要性～



3 初期消火率の向上について～初期消火訓練の必要性～



初期消火率の向上についての説明と初期消火の重要性について

3 初期消火率の向上について 自分たちのまちを知ろう！～まちの魅力とは？～

まちの魅力

自分たちのまちにどんな魅力があるかチェックしましょう！



3 初期消火率の向上について 自分たちのまちを知ろう！～まちの課題とは？～

まちの課題

自分たちのまちにどんな危険が潜んでいるかチェックしましょう！



自分たちのまちの魅力や課題について